



# 関宮学園

学校だより 26号  
R7. 1. 7

## 校訓「敬・愛・信」

### 明けましておめでとうございます

3学期が始まりました。始業式で話した内容の一部を紹介します。本年もよろしくお願ひします。

明けましておめでとうございます。令和7年が始まりました。ところで、令和の前の年号は何だったか知っていますか。平成です。では、その前は何だったでしょうか。昭和です。昭和が続いていたら今年は何年にあたります。戦争が終わって80年、阪神・淡路大震災から30年が経ちます。そのような節目の年であるからこそ、改めて平和で平穏な1年でありませうと祈りつつ、新年を迎えました。

さて、「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。1月1日の朝に、新しい一年の目標（めあて）と計画を立てて、それを実行しようということです。目標を立てましたか。まだの人は今からでも遅くありません。令和7年の目標を立てましょ。

最後に、新聞のコラムの一部を紹介します。

教室はまちがうところだ／みんながどしどし手を挙げて／まちがった意見を言おうじゃないか／ああじゃないかこうじゃないかと／みんなで出しあい言ひあうなかで／ほんとうのものをみつけていくのだ／そうしてみんなで伸びていくのだ

これは、静岡市の先生が書いた「教室はまちがうところだ」という詩です。

まちがうことは恥ずかしいことではありません。この詩のように、みんなで伸びていく3学期にましょ。9年生は進路に向けて最善を尽くましょ。

今回の話をするにあたって、以下の新聞のコラムを参考にしました。

『その詩は学級通信から生まれた。クラスのみながおとなしかったから元気づけたくて、担任の先生が作った◆生徒から同僚に評判が伝わり、作文教育の大会で発表されると、全国から集まった先生が詩を書き写して教室で読んだ◆静岡市の中学教師、蒔田晋治さんが57年前に書いた「教室はまちがうところだ」である。絵本になり先生のバイブルとして読み継がれる。今年書籍化から20年を迎えた◆全文を紹介したいが、71行もあるので一部だけ。〈教室はまちがうところだ／みんながどしどし手を挙げて／まちがった意見を言おうじゃないか〉〈ああじゃないかこうじゃないかと／みんなで出しあい言ひあうなかで／ほんとうのものをみつけていくのだ／そうしてみんなで伸びていくのだ〉(中略)◆〈神様でさえまちがう世の中／ましてこれから人間になろうとしているぼくらがまちがって／なにがおかしいあたりまえじゃないか〉そんな教室が、あっちこっちに増えたらなあ。』(神戸新聞11月28日 正平調)